



安土桃山時代の狩野派の障壁画を
大津・三井寺で鑑賞・・・

独特の価値観を堪能、障壁画鑑賞の旅

“日本美術の独自性と真の日本の美を探究する4回シリーズ”の第1弾として、安土桃山時代から江戸初期の狩野派を軸に障壁画鑑賞の旅に、大津と京都をめぐる。いわゆる下克上の実質的に不安定な時代を背景に、この時代の美術には権力と財力の誇示という独特の価値観が見られるなど、興味深いコースとなっています。

狩野派の作品群を鑑賞するのは、三井寺、豊国神社、二条城。一方、狩野派と双壁をなしていた長谷川等伯一門は、智積院を訪ねます。このシリーズでは、普段は見るできない特別拝観や鑑賞法の解説も行われるなど、伝統美術の世界を身近に楽しんでいただけます。



おんじょうじ みいでら
園城寺(三井寺)(大津市)
TEL.077-522-2238

START



天台寺門宗の総本山で、古くから日本四箇寺の一つに数えられています。現在も国宝・重要文化財・名園など貴重な寺宝を数多く伝えています。

仁王門(重要文化財)
光浄院客殿(国宝)特別拝観

正面の障壁画及び襖絵は、狩野派の絵師・狩野山楽の筆によるもので、重要文化財に指定されています。
光浄院庭園(名勝・史跡)特別拝観
勸学院客殿(国宝)特別拝観
勸学院・障壁画(重要文化財)特別拝観
一之間及び二之間の着色画は、正面床貼付裏面の隅書銘により、狩野光信によって描かれたことが知られています。
金堂(本堂・国宝)

鐘楼・三井晩鐘(重要文化財)
三井寺は天台寺門宗の総本山で、古くから日本四箇寺の一つに数えられています。現在も国宝・重要文化財・名園など貴重な寺宝を数多く伝えています。

京阪「三井寺駅」下車一般500円 8:00～17:00

天台宗の名刹で 狩野派の名画を



ツアーポイント

- 狩野光の障壁画(三井寺)**
三井寺は天台宗の総本山。勸学院の障壁画は狩野光信の作。
- 長谷川等伯一派の障壁画(智積院)**
狩野派に対抗する長谷川等伯一派の障壁画(国宝)を見学。
- 狩野派や鉄斎の名画(豊国神社)**
豊臣秀吉ゆかりの神社で狩野派や鉄斎の名画を鑑賞。
- 狩野派による数々の障壁画(二条城)**
世界遺産に登録されている二条城の二の丸御殿、大書院、白書院など狩野派による数々の障壁画を見学します。



ちしゃくいん
智積院(京都市)
TEL.075-541-5361

真言宗智山派の総本山。豊臣秀吉が長男鶴松の菩提を弔うために建てた祥雲寺と豊国社の一部を併せて、徳川家康が紀州根来寺の智積院に与えたものです。

国宝障壁画(収蔵庫特別拝観)

智積院に現存する絵は楓図、桜図、松に秋草図、松に黄蜀葵図、雪松図、松に立葵図等。作者は長谷川等伯一派。

京阪「七条駅」下車、境内自由、庭園・収蔵庫拝観料一般350円、9:00～16:30(入館16:00まで)



とよくにじんじゃ
豊国神社(京都市)
TEL.075-561-3802

京都市東山区の旧方広寺大仏殿遺跡地にあり、京都の人々からは「ほうこくさん」の名で親しまれています。

唐門(国宝)

伏見城の遺構で国宝に指定されており、西本願寺・大徳寺の唐門と併せ、国宝の三唐門と呼ばれているうちのひとつ。

宝物館

境内には桃山風造りの宝物館には、豊太閤にゆかり深い宝物が公開されています。

豊国祭礼図屏風(狩野内膳筆・重文)
豊公嫁を娶る図(鉄斎筆)

京阪「七条駅」下車、参拝自由。宝物館一般300円、宝物館(9:00～16:30)

古都に花開いた 美術品を時代を追って

ほうこうじ
方広寺(京都市)
TEL.075-561-1720

京の大仏殿として知られていた同寺は、天正14年豊太閤に建立されたものです。境内には豊臣・徳川決戦の引き金と伝えられる有名な「国家安康」の鐘(重文・高さ4.2m、重さ82.7t)があります。



二条城(京都市)
TEL.075-841-0096

二条城は、慶長8年(1603)徳川初代将軍家康が、京都御所の守護と將軍上洛のときの宿泊所として造営し、3代将軍家光により、伏見城の遺構を移すなどして、寛永3年(1626)完成したのものです。

二の丸庭園(特別名勝)

鳴子門

二の丸御殿(国宝)

桃山時代武家風書院造りの代表的なもの。各部屋の襖絵は狩野派の筆によるもので、部屋の目的に応じて描かれています。

<遠待の間> 城へ参上した大名の控え室。虎の間といわれ、虎と豹の絵が描かれています。狩野門下の筆。

<式台の間> 参上した大名が老中職と挨拶を交した所です。襖絵は狩野探幽が25歳のときに描いたといわれています。

<大広間一の間> 二の間:襖絵は、狩野探幽の作。

<黒書院> 奥御殿で、將軍と親藩及び譜代大名の内輪の対面所。襖絵は、探幽の弟尚信20歳のときの作です。

<白書院> 將軍の居間と寝室。内部の装飾は、表御殿と趣を異にし、絵画も狩野興以の作で、居間にふさわしい山水画になっています。

<大広間四の間> 將軍上洛のときに、武器を収めた部屋といわれています。襖絵は、その目的にふさわしく老松に鷹が豪家に描かれていて、松の枝張りは11mあります。狩野探幽の作です。

<老中の間> 3部屋あり、一・二の間は雁の間で三の間は柳と鷺の絵画が描かれています。狩野探幽の高弟の筆といわれています。

<勅使の間> 將軍が朝廷からの使者を迎える時の対面所です。襖絵は狩野真設が描かれています。



地下鉄東西線「二条城前駅」下車
一般 600円、8:45～17:00(入城は16:00まで)



禅の境地をシンボライズ、
龍安寺の枯山水の石庭

日本の美意識「わび・さび」のルーツへ

日本の美探求シリーズの第2弾は、室町時代に開花した禅宗文化をその担い手であった室町幕府が開かれた京都を訪ねます。足利尊氏に始まる武家政権は、それまでの貴族とは異なる仏教、武士の気風に合った禅宗を支持しました。3代將軍義満の北山文化、8代將軍義政の東山文化はもとより、禅の精神は広く民衆にまで波及し、現代にまで通じる日本人の美意識“わび・さび”の世界は、この時代に原点を求めることができるのです。

代表的な禅刹をめぐり、時を超えて伝えられる水墨画、枯山水の庭園を目のあたりに、こころ洗われる一日を過ごしてみませんか。

START

みょうしんじ
妙心寺(京都市)
TEL.075-461-5226

臨済宗妙心寺派の総本山。広い境内に重厚な七堂伽藍が一直線に並び、そのまわりに白壁をめぐらした47院の塔頭が林立しています。本坊をはじめ各塔頭には各時代の名園が数多く残されていますが、公開されているのは本坊・退蔵院・桂春院・大心院だけです。5間四方、重層、入母屋造、本瓦葺の唐様建築。

仏殿(重文)

5間四方、重層、入母屋造、本瓦葺の唐様建築。

唐門・大方丈(重文)

京福電鉄「妙心寺駅」下車、一般400円
本拝拝観 9:10~11:50 / 13:00~15:40



ツアーポイント

- 妙心寺**
重厚な七堂伽藍で障壁画を鑑賞。
- 龍安寺**
禅の精神を表す有名な石庭を見学。
- 大徳寺**
21塔頭には、茶室・庭園・襖絵など、室町から江戸時代にわたる多くの文化財があります。
- 銀閣寺**
わび・さびの文化が息づく東山文化の代表建築で名画を鑑賞。



たいぞういん
退蔵院(京都市)
TEL.075-463-2855

現存する山内の47院中、屈指の古刹。水墨画の祖如拙の描いた室町時代の代表的絵画とされる瓢鮎図を所蔵しています。

瓢鮎図(ひょうねんず:国宝)

山水画の始祖といわれている如拙の作。如拙の門流に周文、雪舟等が輩出し、元信など狩野派に大きな影響を与えています。

方丈
退蔵院方丈庭園(枯山水元信の庭)

室町時代画聖狩野元信作といわれ、観賞本位の絵画的手法で作庭された枯山水庭園。

余香苑(よこうえん)

中根金作氏作庭。



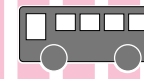
ぎんかくじ
銀閣寺(京都市)
TEL.075-771-5725

臨済宗相国寺派の寺。庭園は東山文化を代表する名園として名高く、竹を組んだ参道の銀閣寺垣、市松模様の銀閣寺手水鉢、与謝蕪村・池大雅の作と伝える襖絵などがあります。

庭園(特別名勝)

月待山麓に、面積約2万㎡を占める庭園。下段は池泉回遊式の庭園で、東求堂から銀閣にかけて広がり、中心部に錦鏡池があり、瓢箪に近い形で、中島を置き自然石の橋がかかっています。上段には枯山水庭園があります。

JR・近鉄「京都駅」阪急「河原町駅」から市バス「銀閣寺前」、拝観料一般500円(東求堂は申し込み制・別途1000円)8:30~17:00(12月1日から3月14日・9:00~16:30)



ふなやま(国見の丘)京都市

平安京遷都の際、垣武天皇がお登りになられた国見の丘。平安京の四方神で北を守るとされる、玄武にも例えられています。



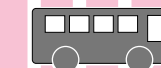
だいたくじ
大徳寺(京都市)
TEL.075-491-0019

洛北随一の大寺院で夢窓疎石とともに南北朝時代の禅林の双壁といわれた宗峰妙超の開基。建物は典型的な禅宗伽藍配置を示し、勅使門・三門・仏殿・法堂・方丈などが南北一直線上に建っています。築地塀に囲まれた中には21塔頭があり、茶室・庭園・襖絵など、室町から江戸時代にわたる多くの文化財が残されています。

真珠庵(特別拝観)

一休禅師の庵室跡で、塔頭真珠庵となったのは1491年。1638年に改築された方丈には曾我蛇足と長谷川等伯等の襖絵があります。

阪急「河原町駅」から市バス「大徳寺前」、境内自由、特別拝観料一般800円、9:00~16:30(室内、庭園は16:00まで)



京都
趣をもつ名庭に
禅の精神をたずねる

りょうあんじ
龍安寺(京都市)
TEL.075-463-2216

京福電鉄「龍安寺道駅」下車、一般500円、8:00~17:00 / 12月~2月・8:30~16:30



1450年細川勝元が藤原実能以来、徳大寺家の別荘であったこの地を譲り受け、妙心寺の義天玄承に帰依して禅刹を建立。

庫裡

方丈

広間の襖を閉じると「上り龍」と「下り龍」の襖絵(特別拝観)が突如あらわれます。

方丈庭園(特別名勝)

方丈の南側にある枯山水の平庭。石庭の代表とされています。

宗教美術の宝庫 空海ゆかりの東寺と五重塔



平安京の入口・東寺から仏教美術をたどる

日本の美探求シリーズ第3弾は、平安から鎌倉時代の最澄と空海、平安浄土教と鎌倉新仏教にスポットをあて、京都と比叡山をめくります。

平安京に遷都した桓武天皇は、律令体制の再建をはかろうと唐から新しい仏教「密教」をもち帰った最澄と空海を重用。それぞれに延暦寺と東寺を建立させて都の鎮護をさせました。やがて、藤原氏が権力を握り、この世に極楽浄土を再現しようと平等院など、きらびやかな寺院や仏像が競ってつくられるようになり、次第に武士の台頭へとつながっていくのです。このコースでは、同じ仏教美術や寺院でも、つくる人の精神性がもたらす違いを味わってもらいます。

ツアーポイント

東寺
「弘法さん」で有名な平安京の羅城門の東西に建てられた寺院。

平等院
世界遺産に指定されている平等院。浄土をイメージした52体の仏像群を見学。

延暦寺
天台宗の総本山。数々の宝物を有します。

三十三間堂
一月の通し矢で有名な寺院、1001体の仏像は圧巻。

とうじ 東寺(京都市) TEL.075-691-3325

794年、桓武天皇は、動乱の中に奈良から長岡京を経て平安京へと都を遷し、羅城門の東西にそれぞれ大寺を置きました。東寺の伽藍は南大門を入れて金堂・講堂、少し隔てて食堂(じきどう)が一直線に置かれ、左右に五重塔と灌頂院(かんじょういん)が配置されています。毎月21日には、1000以上の露天が並ぶ「弘法さん」が開かれます。

五重塔(国宝・江戸時代)

東寺の象徴として広く親しまれている五重の塔は、現存する日本の古塔中最高の塔とされています。

金堂(国宝・桃山時代)

金堂は東寺一山の本堂で延暦15年(796)創建されたと伝えられています。本尊の薬師如来坐像と日光、月光の両脇侍菩薩像、光背上には七軀の化仏を配して七仏薬師をあらわし、台座の周囲には十二神将像を配しています。

講堂(重文・室町時代)

堂内の白亜の壇上には大日如来を中心とした五智如来をはじめ、五菩薩、五大明王、四天王、梵天、帝釈天の21軀の仏像が安置されています。

近鉄「東寺駅」下車、拝観料一般500円(宝物館共通で800円)、9:00～16:30



さんじゅうさんげんどう 三十三間堂

・蓮華王院(国宝)(京都市)
TEL.075-525-0033

長寛2年(1164)鳥辺山麓(現・阿弥陀ヶ峯)の後白河上皇・院政庁「法住寺殿」の一角に平清盛が造進したものです。長いお堂は和様の入母屋・本瓦葺きの「総檜造り」で約120m。正面の柱間が三十三あるところから「三十三間堂」と通称され、堂内には1001体もの観音像がまつられています。

千体の観音立像

中央の巨像(中尊)を中心に左右に各500体(重文)、合計1001体のご本尊。正しくは「十一面千手千眼観世音」といい、当院の像は檜材の「寄木造り」で、頭上の11の頭と40本の手(38本と2組)に表現されています。

雷神・風神像(国宝) 国宝・観音二十八部衆像(国宝)

JR・近鉄「京都駅」下車、境内自由、5:50～17:30(11月～2月・6:20～16:30)

京都 仏教美術の変遷を包みこむ 京の雅の奥深さ...



ひょうどういん 平等院(宇治市) TEL.0774-21-2861

永承7年(1052)、関白藤原頼道によって開創されました。鳳凰堂はその翌年の天喜元年(1053)、阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂(国宝)として建立されています。大和絵風九品来迎図(国宝)、梵鐘(国宝)鳳凰一對(国宝)など平安時代の文化財が多数残り、特に11世紀の仏像群としては唯一残る、国宝雲中供養菩薩52軀は、いずれも雲に乗り、様々な楽器を奏で舞うなど、伸び伸びと繊細に彫り上げられています。

JR・京阪「宇治駅」下車、拝観料鳳凰堂一般500円/鳳翔館一般600円
9:30～16:30(鳳翔館9:00～17:00)季節により変更あり



東塔

東塔には、比叡山延暦寺の総本山堂国宝根本中堂があります。JR湖西線「比叡山坂本駅」からケーブル「比叡山山頂駅」、拝観料550円(三塔共通、国宝殿共通は850円)、8:30～16:30(冬期変更あり)



ひえいざんえんりやくじ 比叡山延暦寺(大津市) TEL.077-578-0001

平安時代初期、平安京の北東の鬼門に建立された天台宗の総本山。延暦寺は比叡山の山上山下に大別されており、3塔16谷2別所といわれる山上は、東塔・西塔・横川の三塔の峰々や谷間の平坦地に堂塔伽藍が。また山下の坂本には延暦寺の鎮守社であった日吉大社や延暦寺の本坊が営まれています。

きらびやかな平安の 極楽浄土を伝える



いにしえ 古の仏像

天平時代のよすがを残す 大仏さまが鎮座する東大寺



ツアーポイント

法隆寺の仏像
仏教美術の宝庫。百済観音をはじめ、大陸の影響を強く受けた仏像を見学。

薬師寺の仏像
薬師三尊像、大日如来の左右にある日光、月光は優美な曲線を描いています。

東大寺 大仏
世界一の溶着銅像「奈良の大仏」を見学。



仏像のお姿に時代の変遷をたどる旅

日本の美探求の最後の道筋では、古代から奈良時代にかけて日本に伝わり、独自の形をとっていった仏像たちを目のあたりに、大陸とのつながりや歴史がもたらした、その表情や姿などの変貌を体感していただきます。

聖徳太子ゆかりの法隆寺には、大陸の影響を強く受けた飛鳥文化の仏像が多数残されています。白鳳文化を代表する薬師寺の本尊・薬師三尊像は、シルクロードを通して奈良へと続いた国際交流のあとを確かめることができます。そして天平文化が花開き、巨刹・東大寺には“奈良の大仏さま”こと本尊の毘盧舎那仏が鎮座。その姿は、すっかり日本の形となっているのです。

START



ほうりゅうじ 法隆寺(斑鳩町)

聖徳太子ゆかりの法隆寺。太子が活躍した6世紀後半は飛鳥の地で大陸から伝わった仏教をめぐって蘇我氏と物部氏が争った時代。太子は政治の理想を「和を以て尊しとなす」という仏教の中に求めました。法隆寺には百済観音や釈迦三尊像をはじめ大陸の影響を強く受けた飛鳥時代の仏像が多数残されています。

JR「法隆寺駅」下車 バス、西院回廊内、大宝蔵院百済観音堂、東院共通 一般1000円、8:00~15:30(11月4日~2月21日・15:00まで)



どうだいじ 東大寺(奈良市)

710年、都は奈良へと遷され奈良時代(天平文化)が幕開きます。聖武天皇は仏教を日本国中の隅々にまで浸透させるため国分寺、国分尼寺の建立を命じました。その中心の総国分寺として、東大寺の建立と盧舎那仏が造立されました。
(南大門にある仁王像は鎌倉時代の作(大和に春をつける「修二会」。3月初旬から中旬のお水取りの行事へ祭りはクライマックスを迎えます。)

JR・近鉄「奈良駅」下車/奈良交通バス「大仏殿・春日大社前」、大仏殿・三月堂・戒壇院各500円、4月・9月・7:30~17:30 / 10月・7:30~17:00 / 11月~2月・8:00~16:30 / 3月・8:00~17:00



奈良 天平文化の幕開けとともに 優れた建築や仏像を輩出



やくしじ 薬師寺(奈良市)

天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を発願して建立した薬師寺の本尊は、「病」をつかさどる薬師三尊像(薬師如来、月光・日光菩薩)。薬師如来の台座には、上からギリシャ、ペルシャ、インド、中国の紋様がデザインされており、シルクロードを通して奈良へと続いた国際交流のあとが偲ばれます。

近鉄「西ノ京駅」下車、一般500円、8:30~17:00



きこうじ 喜光寺(奈良市)

聖武天皇の勅願で大仏殿造立の勸進職をつとめた行基が建立した喜光寺は、「試みの大仏殿」と言われています。菅原道真公誕生の地といわれ、早春には道真公を偲んだ盆梅展が催されています。

近鉄「尼ヶ辻駅」下車、一般300円、9:00~16:30





平安の昔より湧き出る
御香宮神社の霊水は日本百名水の一つ

平安人もめでた名水をめぐる旅

794年の桓武天皇による平安遷都以来、京の都は優雅できらびやかな文化に彩られていきました。そんな京都はまた、山紫水明の地。平安の頃より、名水と称される清泉が各所にあり、神社や寺院にも清らかな霊水が湧き出ていました。そして、この水が、美しい色の染めや織り、銘酒や京菓子、湯葉や豆腐など、京都独特の文化を育ててきたのです。

このコースでは京の名水をテーマに、神社に湧き出るさまざまな由来を秘めた名水めぐりを楽しみます。一日ゆったりとしたところで、社の杜にたたずみ、名水の物語に耳を傾けてください。

START



ふしみいなりたいしゃ
伏見稻荷大社(京都市)
TEL.075-641-7331

全国稲荷社の総本社。室町時代に建てられた本殿は国の重要文化財です。

JR「稲荷駅」下車 / 京阪「伏見稲荷駅」下車、境内自由



不二の水



ふじのもりじんしゃ
藤森神社(京都市)
TEL.075-641-1045

駆け馬神事で有名な神社。神功皇后が新羅から凱旋し、その旗と兵器を納めたのが起源とか。境内にある「不二の水」は一時枯れていたものをボーリングして復活させた三代目の神水。

ツアーポイント

各社に湧く、由緒ある名水にのどを潤し、社の杜でゆっくりとした時間にひたります。

藤森神社
神水は不二の水と呼ばれます。

御香宮神社
御香水は、日本百名水のひとつ。

八坂神社
美人になるという「祇園神水」。

梨木神社
京都三名水のひとつ「染井の井戸」。

松尾大社
霊泉「亀井の水」。



亀井の水

まつおたいしゃ
松尾大社(京都市)
TEL.075-871-5016

渡来人の氏族・秦氏の創建による神社。京都で最も古い神社の一つといわれ、歴代天皇の行幸もたびたびあった由緒ある神社です。境内にある霊泉「亀井の水」は持ち帰って醸造の際に混ぜるとお酒が腐らないといわれています。

阪急「松尾駅」下車、参拝自由、松風苑・宝物館一般500円、5:00~18:00 / 松風苑・宝物館9:00~16:00(日曜、祝日は16:30まで)

京都

雅のこころと
名水の出会いが育んだ
独自の文化

御香水



ごこうのみやじんしゃ
御香宮神社(京都市)
TEL.075-611-0559

伏見の産土神。本殿と伏見城の大手門を移した表門は、国の重要文化財。本殿わきにある御香水は日本百名水の一つです。近鉄「桃山御陵前駅」下車、参拝自由、石庭拝観一般200円、9:00~16:00

染井の井戸



なしのきじんしゃ
梨木神社(京都市)
TEL.075-211-0885

境内には、京都三名水のうち、唯一現存する「染井の井戸」があります。また、萩の名所としても知られています。京阪「出町柳駅」下車

祇園神水



やさかじんしゃ
八坂神社(京都市)
TEL.075-561-6155

「祇園さん」の名で親しまれている八坂神社は、全国に3000余りある祇園社の根本神社。1000年以上の歴史をもち、京の夏を彩る「祇園祭」、12月31日の「おけら詣」など京都の人々に親しまれています。境内にある「祇園神水」を飲んで境内の美御前社にお参りすると美人になるといわれています。

京阪「四条駅」 / 阪急「河原町駅」下車、参拝自由